



みやの森通信



発達凸凹向けフリーペーパー 第17号:2022年03月24日発行 編集長:家森 謙
Ponteとやま(みやの森カフェ) 富山県砺波市宮森303 電話:0763-77-3733
メール:miyanomori.ponte@gmail.com Ponteとやま facebook 検索



パナソニック教育財団「こころを育む活動」 全国大賞をいただきました！！



始まりは、大阪在住の下江さんから、「これに応募してみませんか」というメッセージをいただいたことからでした。下江さんはいつも私たちの活動を温かく見守ってくれている方です。助成金の申請も何回か試みましたが、いつも途中で手が止まってしまう。なぜか。おそらく、「誰かを助けるための活動である」というアピールが私にはできないからではないかと思うのです。その点、今回は、私たち自身が楽しく活動をしていること、子どもたちが生き生きと活動に参加してくれていることを書けば良い。私たちにぴったりでした。

書類審査が通り、ZOOMでのヒヤリングもとても楽しいものでした。「理念は何ですか?」と問われても、「理念とかはあんまり考えてもいないよね」「うん」と応えた私たち。その結果の講評が「誰でも簡単に居場所づくりが始められることを示す好事例と言えます。大人たちも肩の力を抜いて楽しんでいて、「ごちゃまぜ」の多様性が新たな出会いや気づきを生み出しながら、子どもたちの自己有用感や社交性が育まれている点が高く評価されました」になったのかもしれない。

さて、2月8日の授賞式、座談会もZOOMで行われました。受賞の4団体からさらに大賞が選ばれるという瞬間。他の方の活動は、学校、地域、企業などを巻き込む大きな活動で、ちっぽけな私たちが選ばれるとも思わず、水野さんとリラックスムード。ところが欽ちゃんの仮〇大賞のように、優秀賞が一つずつ発表され、そこにPonteが入っていないってことは??もしかして! 3つ優秀賞が発表されたところで水野さんの嬉しそうな顔が画面に映されました(ワッシーさんから喜ぶの早すぎと後でいわれましたが)

鷲田清一先生の総評や座談会の鈴木みゆき先生のコメントは嬉しい内容でした。子どもたちの主体性を重んじて、いろんな人と出会う機会を作り、失敗もまじえた豊かな経験を紡いでいく場が今必要とのこと。まさに、私たちが大切にしていること(あ、これが理念かも)がそこにありました。

そして、受賞を知った人たちが自分のことのように喜び、涙してくれました。これが私たちの宝物です。さあ、これからも若者たちと楽しく頑張ります。肩の力は抜いていきますね。



座談会QRコード⇒



なっちゃんの山紀行vol.5 生まれて初めての登山

生まれて初めての登山は23歳の時で、8月末の晴天の日曜日でした。職場の山好きな先輩が、「仲間と一緒にワイワイ、室堂から奥大日岳に登って、七福園～大日岳～大日平～称名滝に下りるの。楽しいよおー」と。当時、山には全く興味無かったのですが、若かったのでホイホイ行く事に。しかし若さも無知も怖いものです。

実はそのコース。初心者なら一泊2日、日帰りは精鋭部隊のみに許されるコースなのです。

しかも「動きやすい服装ってこれだよ」とジーンズとスニーカーで行ってしまいました。

勿論、ジーンズは汗でベタベタに重く、スニーカーは足の疲れがダイレクトに出ました。それでも20代なので、最初のポイント奥大日岳までは笑っていました。劔岳かけえー!山最高!と。

しかし、下りの大日平でペースダウン、牛ノ首を過ぎてから足が攣り始め、何と日没。真っ暗闇の崖道下りを余儀なくされました。泣きそうになりましたが、本当に泣きたいのは私にベッドライトを貸して先導する同行者の方に違いないので、必死に身体を動かすのみです。何とか林道に出た瞬間の「生きて戻れた…」という感覚は今でも覚えています。

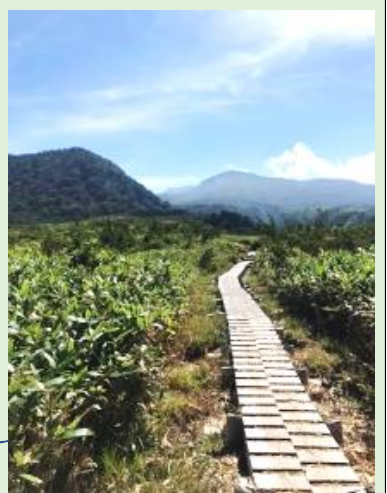
振り返ったら、たった今脱出した山が黒々と恐ろしく聳え立ち、その上に、青白い満月が冷たく冴え冴えと光っていました。

どうも、その満月にやられたらしく、それから20年以上経っても、怖かった筈の山にまだ登っています。命からがらで見上げた満月が、「また山で野生に戻ってみんなか…?」と妖しく呼びかけたのかもしれません。

2012年8月26日20代では登れなかった山頂。50代で登頂なんて人生ありがとうございます。

長い坂を登り、稜線に一步踏み出すと、この劔岳がドーン!なのです。泣きます。

どこまでもぐんぐん歩くぞ～!



広告募集。 みやの森カフェに居る加藤へ直接お話いただくか、
0763-77-3733(みやの森カフェ)、miyanomori.ponte@gmail.com へ連絡を

募集中!

Ponteとやま フリーペーパー 検索



Ponteとやま 検索



Ponteとやま facebook 検索



アドバンス北陸 検索



就労支援活躍の場広がる

【支援学校への清掃実習指導完了】

Ponteとやまの就労支援事業も新たに車椅子清掃も開始して、
 どんどん拡大している中で、昨年6月からは清掃業務の実習指導を
 高岡南福社会の特養「はるかぜ」内で行ってきましたが、
 3月初めに完了する見込みとなりました。



これは、高岡聴覚支援学校が3年生、2年生対象に実施している校外実習「地域実習」が2年ぶりに
 実施されたもので、これまでも「はるかぜ」施設を利用して行われていたものの、清掃実技については
 「はるかぜ」側では指導せず、支援学校の先生が指導されてきたようです。

今年、「地域実習」を再開するのであれば、施設内清掃をPonteが担当しているので指導担当としては
 どうか、と高岡南福社会からの提案もあり、実現に至ったものです。

実習としては6月から今年2月までの8か月間に1回2時間の実習を15回実施する長丁場のもので、
 3名の実習生を担当しました。これまでのPonte就労予定者へのトレーニングや、昨年3月に実施した
 富山クリーン研修会の内容も参考に、「プロ清掃を目指す」カリキュラムを作成して、終了するときの目標に
 「施設内トイレ・通路・居室などユニット清掃ができる」ようにすることとしました。

支援学校でも清掃実習を行っているのでモップの扱い方に慣れている
 生徒もいて、その点ではPonteのトレーニングメンバーよりレベルは
 高かった(?)かもしれません。ただし、今回実技だけでなく、
 「プロとしての清掃」を進めるための大切なことの座学講義も実施し、
 「清掃と掃除」の違いや「エリア別の道具管理の考え方」等講義しました。
 少し難しかったかもしれませんが、睡魔と戦いながら(?) 勉強して
 もらいました。また、実技研修ではPonteメンバーも指導員として



入って実技指導・チェックも担当する機会がありました。残念ながら、今年はコロナの影響で
 ユニットの中まで入ることはできずに終了しましたが、実習生は道具の色別管理、除菌用薬剤(アクセル)を
 使用した感染予防清掃を理解して施設内廊下・会議室等を実際に分担しながら清掃完了できるよう
 になりました。来年以降もこのような機会を活用して「就労支援としてのプロ清掃技能の輪」を拡げていき
 たいと思います。

編集長家森の **目** 都会の野猿、コスパ最強説 ▼富山に住み数年。電車通勤から車通勤に変わり、
 目にする風景も一変した。野生の猿もその一つ。雨降る交差点、スキー場へ続く大きめの道、駐車場、電線、
 倉庫・・・こんなに沢山、しかも群れで当たり前に遭遇するのかと。動物園から脱走した猿と見分けつかない
 のも無理はない▼こんな野生の猿だが、都会の住宅地に出没すれば、たちまちニュースの主役に躍り出る。
 ①ギャラ不要 ②わちゃわちゃ動いてくれるから割に見ていられる ③なかなか捕まらないから数日間、
 サル騒動で数分尺を稼げる。長く逃げてくれていればいるほどコストパフォーマンス力は上昇▼勿論、
 当事者にとっては迷惑な存在で困りごとなのは間違いなく、早期解決が必須。でも、番組の作り手にとっては
 願ってもないアイテムなのが本音ではないか▼山間部に住んだり通勤している人は野猿が当たり前に出没
 する事を知っている。が、それは世の中の少数派。都会暮らししか経験無い人の多くは、動物園やサル山で
 しか猿は見れないと本気で思っているのかもしれない。今、自分の目の前にある当たり前の事象は、立場や
 環境が変われば当たり前では無くなる。だからニュースにもなるという話だ▼宇宙人や埋蔵金の番組も同じ
 構造。視聴者の多くは宇宙人や埋蔵金発見を求めている。が、作り手はそれを求めている。見つからない
 から番組を作り続けられる。欲しいのは「視聴率」という埋蔵金だ

わたしが「わたし」でいられるところ フリースタイルスクール (フリスタ)



毎日自転車で、
雪の日は走って
やってくるAくん
が駐車場に
描いた
アンパンマン

2年前、ちょうどコロナウイルス感染が流行し始めたタイミングで活動し始めた!?フリスタ。初期メンバーは、就労トレーニングを積んで、働けるようになり、それぞれの形で「自立」に向けて進んでいます。

入れ替わるように、新しいメンバーが次々やってきてくれています。雪の中を30分ほど走ってくるAくん。大人からの「呪いの言葉」(詳しくはオンライン対談:2月23日 を参照)が嫌で自主休校をしているBくん。隣の隣の市から、一人で電車に乗ってやってくるCくん。そして、さりげなくフォローしてくれたり、時には一緒にとことん遊んでくれたりするお兄さんたち。

個性豊かな子どもたちだから もちろん衝突することもあるけれど、「イラっとしたら怒ってしまうんだよね」「どうしても〇〇が気になっちゃう」「自分もだいぶん忙しいけどね」...

仲間の存在や斜めの関係性の中で、冷静に自分を見つめ言語化できるようになっていく。人が自らの力で変わっていく姿はとても素敵。そんな毎日を共有できるのは本当に幸せです。



理系男子勢ぞろいで
夢中になっているのは「オセロ」

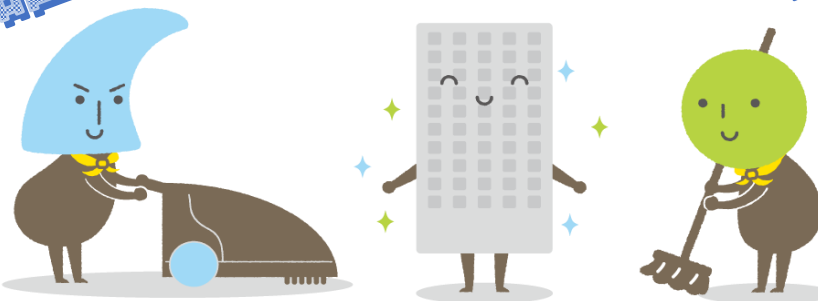
消防団員募集中!!



みやの森通信で
絵を書いて下さっている
坂野馨斗さんが
「石川県消防団員募集」の
ポスターで最優秀賞!!
おめでとうございます。



誰もが働ける地域社会へ



建築物の内外の衛生的環境を確保し、ビルを利用する全ての
人々に衛生的で快適な空間の
提供を目指します。

スタッフ大募集(特に南砺市!)
電話かホームページの
お問合せフォームへ

快適空間の創造を目指して..
株式会社アドバンス北陸サービス
Tel 076-295-7040

<http://www.advancehokuriku.co.jp>

ADVANCE Hokuriku Service

アドバンス北陸

検索

次はあなたの広告募集。みやの森カフェに居る加藤へ直接お話いただくか、
0763-77-3733(みやの森カフェ)、miyanomori.ponte@gmail.com へご連絡を

募集中!